

ご質問	回答		参考リンク
スコアレポートについて			
スコアレポートはどこから入手できますか？	CDP websiteへサインイン>企業ダッシュボード>下へスクロールダウンし、(My Files)赤いボタンをクリックください。 ※スコアリングがされた質問書のみ、スコアレポートがダウンロード可能です。過去のレポートもダウンロードが可能です。	スコアレポート解説	Using CDP's Disclosure Platform - Companies p.8
スコアリングのmapped to modules and questionsの一覧で、D、A、M、Lは何を示していますか？	Disclosure (情報開示), Awareness (認識), Management (マネジメント), Leadership (リーダーシップ) の略です。		
今年のスコアの「認識」「マネジメント」「リーダーシップ」の各関値をお教え下さい。	スコアリングイントロダクションをご参照ください	スコアリングイントロダクション2022	
スコア平均には、分母にF企業も入っていますか？	Fは含んでおりません		
レベルの中でどの立ち位置 (B-の中でもB寄りなのか、C寄りなのか) は、レーダーチャートやカテゴリ毎から判断するしかないのでしょうか？	スコアレポートからご判断いただくか、スコアフィードバックコールでも少し細かくお話しできる場合もございます。		
スコアレポートのレーダーチャートについて質問です。全体のスコアでCを獲得した場合は、カテゴリごとにBのスコアに値する点数を得ていたとしてもCとして表示されている、という認識であっていますか？	ご認識のとおりです。		
スコアリングレポートのカテゴリについて、レーダーチャートに反映されていないカテゴリ(カーボンライティングなど)も全体評価に反映されますか。またそれらカテゴリごとの得点状況を知ることは可能でしょうか。	スコアレポートに記載のないカテゴリは、カテゴリの対象となっている質問数が非常に少ないため、カテゴリ別のスコアを算出していません。スコアレポートに掲載されていないカテゴリもスコアリングは行っているが、レポートに記載はしていません。掲載されていないカテゴリに対してフィードバックのご希望がある場合、フィードバックコールの中でお答えできる範囲内でお答えさせていただきます。	スコアリング基準(気候変動)	スコアリング基準(フォレスト)
2021年度と比較して、2022年度の平均スコアが全体的に下がっているように思える。これはCDPの評価基準や関値が厳しくなったのでしょうか。	スコアが下がった要因は単にスコアリング基準の変更、関値の変更などがあり一概に容易に原因をお伝えすることができません。個社別に状況が異なるため回答の分析が必要です。スコアフィードバックコールの中で説明できる範囲で説明させていただきたく、ここでの回答は控えさせていただきます。		
同アクティビティグループ内でのAリスト企業はないと記載されていますが、一方で隣接している円グラフ内にはリーダーシップクラス20%とあります。リーダーシップクラス=Aリストではないのでしょうか？	リーダーシップクラスはAとA-が含まれます。		
アクティビティグループ内のAリスト会社とは、自社の評価がAもしくはA-の場合でないと、「なし」になるのでしょうか？	自社のスコアがBやCなどA以外であった場合にも、同じアクティビティグループのAリスト企業名は表示されます。Aリスト企業が自社企業のアクティビティグループにグローバルで1社もない場合は、なしの表示となります。		
自社のアクティビティグループがスコアレポートで確認できることは理解できましたが、他社のアクティビティグループを知る方法はあるのでしょうか？	他社のアクティビティグループについて知る方法はございません。但し、御社のスコアレポート2枚目にグループ内のAリスト企業名が掲載されており、少なくともそれらの企業のアクティビティグループが御社と同じであることについては確認ができます。		
2021年度のスコアレポートがDLできないのですが、何か理由はありませんでしょうか？	確認しますので、お手数ですが japan@cdp.net まで個別にお問い合わせをお願いします	問い合わせ窓口	
各項目ごとに、評価されているかいないか(採点)は、レポートでもフィードバックでもわからないという認識でよろしいでしょうか？	フィードバックコールでもお伝え出来るのはカテゴリ別のスコアのみとなり、質問別のスコアについてはご説明できませんのでご了承ください。フィードバックコール内では特定の質問に関して詳しくフィードバックさせていただく場合もございます。		
1カテゴリのみ他カテゴリはCまたはBでも、一番低いカテゴリがDであればDスコアとなるのでしょうか。	スコアリングイントロダクションの資料をご確認ください。1つのスコアがDであったとしても、全体で必ずDになるというわけではございません。	スコアリングイントロダクション説明資料	
C11カーボンライティングは、どのカテゴリですか？	設問レベルでカテゴリが異なります。回答企業向けガイダンスページの「CDP scoring categories and weighting documents」よりご確認ください。	回答企業向けガイダンスページ	
スコアリングについて			
コメント欄に書いたことは採点されますか？C5排出量算定で、スコープ1と2を分けて管理していないので、コメント欄にスコール1と2の合計値を記入しました。	コメント (Comment) 欄への回答はスコアリングには考慮されません。質問によっては、Please explain (説明してください) の欄がありますが、そちらに記載の内容はスコアリング対象です。スコアリングの全般的な解説はスコアリングイントロダクションをご覧ください。	スコアリングイントロダクション説明資料	
Aリストの要件を満たしているにも関わらず、レピュテーションでA-になるとありますが、もう少し具体的に、どんな理由だとスコアが落ちるのか教えてください。	理由については個社別の状況によります。CDPの気候変動、フォレスト、水セキュリティの各分野において、採点基準だけでは捕捉できないような様々な個社別の事情を総合的に判断し、Aには選定できない、リーダーシップにはそぐわないと思われる事象がある場合はAではなくA-となる場合があります		
2022年度回答は昨年通り、あるいはそれ以上の回答ができたと考えておりますが、スコアが1ランク下がりました。どのような原因が考えられますでしょうか？	要因は個社によって異なるため詳細な分析が必要になります。スコアフィードバックコールでお答えできればと思います。		
初回答のため、スコアの決定のロジックについてもう少し具体的に教えていただけますか。	スコア決定については、スコアリングイントロダクションの資料をご確認ください。	最新版英語スコアリングイントロダクション	日本語版訳(最新版ではないことご注意ください)
「水セキュリティ」について、「スコアリングなし」となっていたのですが、理由を教えてください	個別に確認しますので、CDP Japanまでお問い合わせください	問い合わせ窓口	
初回答のため簡易版で回答したところ、スコアリング対象外との結果でした。事前の説明では簡易版でもスコアリングされると伺っていたのですが、他に理由があるのでしょうか？	簡易版でスコアリングされるのは顧客要請のみを受けている企業だけです。投資家からの回答要請を受けている企業は完全版の回答を、スコアリング期限までに提出いただく必要があります。	最新版英語スコアリングイントロダクション	
スコアリング対象外という企業はどういった企業ですか？	回答期限後に提出、投資家からの回答要請のみ(顧客からの要請がない)にもかかわらず簡易版質問書に回答した場合はスコアリング対象外です。		
Awarenessでも評価がAになることがあるとの理解でよろしいでしょうか？	カテゴリ別にAwarenessになっている場合でも全体評価がAになるケースはあります。		
採点結果について、メソドロジーと照らし合わせても認識が合わないパートについて、改めて採点し、2022スコアを見直しいただく方法/プロセスはございますでしょうか。	もしご不明点がある場合はスコアフィードバックコールにご参加いただくか、フィードバックコールにご参加されない場合でも、スコアビールという方法でスコアの見直しを問い合わせることができます。詳細はスコアリングイントロダクション2022をご覧ください。	スコアリングイントロダクション2022	
自己採点をしようと思ったらどのような方法がありますか？	スコアリング基準をご確認ください。質問レベルの詳細な採点基準が記載されています。	スコアリング基準(気候変動)	スコアリング基準(フォレスト)
グローバルで採点される企業は、どのような基準で選定されているか、公表されていますか？	日本・日本以外のグローバルの隔てなく、すべての企業で、同じ種類・テーマの質問書については同じ基準・プロセスで選定されています。「スコアリングイントロダクション(Scoring Introduction)」資料より基準が公開されています。	スコアリング基準(気候変動)	スコアリング基準(フォレスト)
最新版のスコアリングメソドロジーは、英語版のみでの公開ですか。	順次日本語訳を公開しておりますが、2022年度の最新版は英語の資料となります。2023年度のものについても英語版が先行して公開されます。日本語訳については準備が整い次第追って公開となります。		
英語原文のスコアリングメソドロジーは期中に何回か更新されるものと認識していますが、「いつの間にか更新されている」状態となり対応苦慮しています。更新についてフォローアップできる方法がありましたらご教示ください。(メール通知など)	資料は https://japan.cdp.net/disclosure/companies-disclosure でご確認ください。スコアリング基準の前半部分にどの点が前回アップデート時より更新されているかを把握するバージョンコントロール情報も記載されています。(ページ右上の言語ボタンで日本語・英語など切り替えいただけます)更新については、お手数ですが都度掲載ページにアクセスの上更新履歴をご確認ください		
今回適用されたスコア基準はどちらを閲覧すればよろしいでしょうか。最近スコア基準が改訂されたというお話をお聞きしましたが、それは2023年度から適用されるという理解でよろしいでしょうか。	2023年度のスコアリング基準はまだ公表されておりません。2022年のスコアリング基準は、回答企業向けガイダンスページに掲載しております。	スコアリング基準(気候変動)	スコアリング基準(フォレスト)
スコアリングの関値が変更されるのは、どのような理由があるのでしょうか？	スコアの関値は毎年スコアリング中に設定しております。毎年回答企業数が増える中で、有意な分布になるようにスコアの結果を確認してから関値を決定しております。毎年同じ関値で採点をしているわけではありません。特にAリストになるための関値に関しては、リーダーシップを示すスコアになるため、リーダー企業としてふさわしい数、またはレベルなど全体的な基準を考慮しながら関値を決定しております。		
初回答企業はスコア非公開を希望すると思うのですが、非公開を希望とそもそもスコアリング自体されないという認識で合っておりますでしょうか？	初回答企業はCDP事務局までプライベートスコアを申請することによって、プライベートスコアを選択することが可能です。投資家要請の初回答企業がスコアリング対象期限内に完全版質問書回答を提出された場合には、スコアリング対象となり、スコアが付与されます。		
分野ごとのweightが例年公開されていると思いますが、本年は既に公開済みでしょうか？	はい、すでに公開しております。回答企業向けガイダンスページをご参照ください	回答企業向けガイダンスページ	
顧客/投資家要請の両方を受けて簡易版に回答しましたが、「スコアリング対象外」と表示されています。顧客/投資家の両方に簡易版に回答した場合も、スコアリング対象外となるのでしょうか。	顧客及び投資家要請企業がスコアリング期限内に簡易版質問書の回答提出した場合、簡易版質問書のスコアリング基準に基づいてスコアリングされます。スコアは回答企業と回答要請を行った顧客企業にのみ開示され、一般には公表されません。	スコアリングイントロダクション2022	
セクターについて			
セクターで、「金属・鉱業」と「鉄鋼」の違いは何ですか？	鉄鋼はいわゆる鉄を主成分とした金属材料を生成している企業で、金属・鉱業は、原料となる鉱物資源の採掘から、鉄鋼以外の金属系材料を生成している企業です。		
セクター選択が間違っていた場合は事務局へ変更のご依頼のメールだけで構いませんか？	メールにて分類されているセクター、変更希望のセクター、根拠となる資料(売上高などがわかる公開資料等)を添えてCDP事務局までメールにてご連絡ください。詳細はダッシュボードユーザーガイドのp31も参照ください。	ダッシュボードユーザーガイド (p.31)	

ご質問	回答	参考リンク		
回答会社のアクティビティグループはどのように分類されているのでしょうか？	アクティビティグループ（CDP ACS分類）は、企業の財務情報、特に売上高が一番大きく絡めている事業活動をセクター分類に当てはめております。来年度の回答に関して、CDP ACS分類が自社の事業活動や財務状況にそぐわないとお考えの場合は、根拠となる有価証券報告書などの財務情報を合わせて事務局までお問い合わせください。	CDP's Activity Classification System (CDP-ACS)		
日本企業のうち、アクティビティグループごとに回答企業数を知ることができますか？	CDPのセクター分類は大分類、中分類、小分類となっており、大分類については企業数も含めてジャパンレポート内で公表予定です。スコアレポートの中で出てくるアクティビティグループは中分類に該当します。			
2022年回答・スコアについて				
日本のプライム企業におけるスコアの分布、回答率を教えてください	スコア別の企業数や分布は、2023年発行予定のジャパンレポートに掲載する予定です。			
2022年度の回答企業数を教えてください	2022年の開示サイクルでは、世界の株式市場の時価総額の半分を占める18,700以上の企業、日本では1,700を超える企業がCDPを通じて開示しました。			
水セキュリティの回答社数を教えてください（日本企業）	514社です。			
Aリスト企業の回答を検索することはできますか？また、同じアクティビティグループの企業の回答を検索することはできますか？	2022年Aリストは特設ページでご確認いただけます(参考リンクをご参照ください)。同じアクティビティグループ毎の検索はできません。	companies scores		
WEBサイトに全回答企業のスコアが公開されているのでしょうか？	検索ページで回答企業のスコアを検索いただけます	https://www.cdp.net/en/search		
スコアがGoogle Financeに表示されるのはいつですか？	2023年1月頃予定です			
ランクのFとNAの違いは何でしょうか？	Fは無回答企業 NAは投資家要請のうちスコア非公開(Private score)、ならびに顧客からのみ要請を受け回答しスコアがついた企業です			
スコアの公表・非公表を今から変更できますでしょうか？	変更いただけません			
今回適用されたスコア基準はどちらを開覧すればよろしいでしょうか。最近スコア基準が改訂されたというお話をお聞きしましたが、それは2023年度から適用されるという理解でよろしいでしょうか。	回答企業向けガイダンスページに掲載しております。スコアリリース前後に改定されたのは、スコアリングイントロダクションで、2022年の質問書についての関連書類です。2023年度の関連書類は、2023年より順次公開される予定です。	スコアリング基準(気候変動)	スコアリング基準(フォレスト)	スコアリング基準(水セキュリティ)
簡易版のため「スコアなし」なのですがお客様がスコアの要請をした場合開示可能ですか？	CDPのウェブサイト上に公開（開示）スコアリング対象になるには、投資家要請を受け取り（対象ではない場合、自主回答としての手続きの上）完全版質問書にスコアリング対象期限までに回答を提出した場合のみとなります。顧客要請のみの企業で簡易版選択の場合でも、スコアリング対象期限内に回答いただければ、簡易質問書向けのスコアリング基準に基づいてスコアリングされます。スコアは回答企業と回答要請を行った顧客企業にのみ開示され、一般には公表されません。	スコアリングイントロダクション2022		
完全版で回答したかったが、設定が簡易版になっていたため、採点対象外になってしまいました。どの時点で質問書のバージョンを選ぶようになっていたのを知りたい。また、回答を入力している時に、完全版/簡易版を確認する手段はありますか？	投資家要請初回企業の場合、システムの初期設定により質問書種類が簡易版になっているため、必ず事務局に完全版への変更依頼が必要です。また、ORSのウェルカムページ上に、どの質問書バージョンを貴社が「回答されているかが明記されております。また、質問書の内容も簡易版と完全版では異なるため、どのバージョンでの回答されているかは確認が可能です。初回回答企業向けのウェビナー及び他のORS解説資料でもその旨説明させていただきます。	CDP-disclosure-platform-guide	ユーザー登録・回答ダッシュボード（2022年版）	CDPオンライン回答システムユーザーガイド p.9
回答内容を非公開で提出したのですが、今から公開に変更することはできますか？	CDPでは回答の公開を推奨しており、回答内容の非公開を公開へ変更は可能です。恐れ入りますが、japan@cdp.netもしくはヘルプセンターからご依頼ください。			
要請があった企業へはCDPから連絡が行っているのでしょうか？	毎年投資家要請・顧客要請企業宛にCDPより担当者宛にメールにて要請メールをお送りしています。4月末から5月になってもCDPより連絡がない場合には、CDPまでその旨お問い合わせいただければ、状況をお調べして回答することが可能です。担当が変更になった場合にもお早めにCDPまでご連絡くださいませ。	問い合わせ窓口		
今年は全何社がClimate changeに参加したか教えてください。	日本では、1,704社がCDP気候変動質問書の回答を提出いたしました。			
提出済であるのにスコアリング対象外なのは、スコア非公開ということでしょうか。	スコアリング期限以降に回答、簡易版質問書への提出等の場合、スコアリング対象外となります。			
フィードバックコール・レポーターサービスについて				
費用1テーマとありますが、1テーマの定義は何ですか？	テーマは質問書のことです。気候変動、フォレスト、水セキュリティの3質問書についてフィードバックコールをご希望の場合、3テーマ分としてお申込みください			
フィードバックコールの実施方法について教えてください	オンラインで実施いたします。Zoom, teamsなどご希望をお伺いしております。			
オンライン面談は時間制限ありますか？	フィードバックコールは、30分10万円＋税/60分20万円＋税のどちらかを選択いただき、時間内で対応しております			
フィードバックコールは英語で行われるのでしょうか？	日本語で行います			
レポーターサービスの費用は年間おおよそどれくらいでしょうか。	大変お手数ではございますが、レポーターサービスに関しては別途reporter services.japan@cdp.netにご連絡をお願いします	問い合わせ窓口		
フィードバックでは、設問ごとの得点、〇×も教えていただけますか。	フィードバックコールは、カテゴリごとに改善点についてお伝えするものです。設問ごとの正誤についてはお伝えいたしかねます。			
フィードバックですが、申し込み後のスケジュール感はどのようになるでしょうか。申し込み後、すぐに対応いただけるでしょうか（今年度中を希望）。	2023年1月～3月の期間中、双方調整の上実施日を決めております			
フィードバックを使用しない範囲でのサポートの有無、およびその内容を教えてください	有償ではない範囲であれば、皆様に公開している資料がまずはお役に立つかもしれません。特に詳細版では各設問の間違えやすい点などについても解説しています。	CDP Japan 開示サポート	スコアリング関連資料（日本語版）	
2023年度以降の質問書について				
2023年は「気候変動」「フォレスト」「水セキュリティ」ではなく、「統合質問書」の形式になりますか？	2023年の質問書については統合はなく、従来通りの質問書にご回答いただく形になります。			
CDP2023ではフォレストのコモディティが増える予定はございますか？	2023年フォレスト質問書における開示可能なコモディティは、木材、パーム油、畜産品、大豆、カカオ、コーヒー、ゴムとなっています。このうち、2022年スコアリング基準によれば、スコアリング対象コモディティは、木材、パーム油、畜産品、大豆となっております。2023年以降、スコアリング対象のコモディティが増える予定か否か、というご質問であれば、現時点では不明です。2023年スコアリング基準の公開が今後ある予定で、その時点で確認が可能となります。なお、2023年以降については、Signpostingの文書にもある通り、「The focus on promoting landscape and jurisdictional approaches will likely develop further, there will be a greater emphasis on transition plans and there is ambition to expand scoring to a wider range of commodities.」との記載がありますので、今後、スコアリング対象の範囲が拡大する可能性があります。CDP Signpostingについてはこちらのリンクをご参照ください（ https://cdn.cdp.net/cdp-production/comfy/cms/files/000/006/537/original/Briefing_document_2023_Signposting.pdf ）	CDP Signposting		
「CDP2023」で今回から変更を予定しているものはありますか？	2023年からプラスチックに関する設問を追加することを公表しておりますが、毎年各質問書の変更点につきましても随時ご案内するようしておりますので、ウェブサイトをご確認お願いいたします。なお2022年質問書の変更点につきましては、今年3月にご案内させていただきます。			
2023年の気候変動質問書は、質問内容に大きな改訂が予定されていますか？	2023年度のスコアリング基準（Scoring Methodology）やガイダンス（Scoring Guidance）等の資料公開をお待ちください			
他社回答の閲覧について				
同業他社の回答を見ることはできますか？	はい、企業が回答を公開で提出している場合、CDPホームページの下端「企業・自治体の回答を閲覧」より検索の上ご覧いただけます（1アカウントにつき1年に20回の閲覧上限がございますのでご注意ください）			
「20回」は延べ回数ですか、「20社」の意味でしょうか。	延べ回数となりますのでご注意ください			
1年に20ページの閲覧上限を超えてしまった場合、上限の解除はできませんか？	有料とはなりますが、上限引き上げが可能です。data.japan@cdp.netまでお問い合わせください	問い合わせ窓口		
他社の回答内容を閲覧できるのは20回までとのことですが、どの期間で20回ですか？	10月～翌年の10月のリセットまでの期間、1アカウントにつき20回web上で閲覧いただけます。閲覧回数が20回であって、20社分ではありません。			
同業他社の回答閲覧は1年に20回の上限があるということですが、仮に今年上限に達している場合、翌年他社回答が閲覧できるようになるのはいつからでしょうか？	回答閲覧数は毎年およそ10月頃、当該年度の回答が公開される際にリセットされます。今年既に10月にリセットされており、次にリセットされるのは来年10月頃を予定しております。それまでに閲覧回答数を拡大したい場合は有料になります。	問い合わせ窓口		
購入した閲覧回数を使用しきらなかった場合、リセット後の翌年分に繰り越されますでしょうか。また、閲覧回数を確認する方法はありますか？	購入いただいた余剰分は、繰越いただけません。閲覧回数の確認は、お手数ですが都度CDPまでお問い合わせください。	問い合わせ窓口		
閲覧回数の購入余剰分は、繰越されないとのことですが、リセット時期のご案内がなかった認識です。リセット時期が来るタイミングはご連絡されないのでしょうか。	リセット前にご案内はお送りしていません。上限引き上げお申し込みの際に、繰越が行えないこと並びにリセットは毎年10月ごろ実施される旨ご案内をしております。			

ご質問	回答	参考リンク	
同業他社等のスコアを確認している中で、まだスコアが表示されておらず、「スコアは近日中にお知らせします」とされている企業がありました。スコアは同日に発表されるものではなく、一部企業は別日程で発表されるのでしょうか？このような企業のスコアは、いつ公開されますでしょうか？	一部の企業については、グローバルでスコアを確認しており、年明け以降、なるべく早く公開できるように努めております。		
他社の回答内容はいつからダウンロード可能となりますか？	web上での閲覧のみで、ダウンロードはいただけない仕様となっております		
その他			
日本語で回答している場合は、他社に公開される回答も日本語という理解でよろしいでしょうか？	はい、CDPで回答を翻訳するといったことは行っておらず、原文の言語で表示されます。		
事務手数料の払い込み期間はいつですか？回答前ですか？回答後でしょうか？	回答事務費用の支払い期限は、請求書発行日から90日、もしくは9月末のどちらか早い方となります。支払い前でも請求書の発行手続きをされれば、CDPへの回答は可能です。	回答事務費用FAQ(2023)英語版	回答事務費用FAQ(2022)日本語版
これまで気候変動のみ回答していますが、今後ウォーター・フォレストに回答する場合の回答費用はどのような扱いになりますでしょうか。（気候変動とは別で費用が発生する、ウォーター・フォレストのみ初回回答の扱いになるなど）	水セキュリティ、フォレストへ追加で回答いただく場合でも、回答事務費用は同価格となります。テーマ別の費用追加などはございません。		
2022サプライヤーエンゲージメント評価（SER）とリーダーボードについて詳しく教えてください。どのようなものですか？	サプライヤーエンゲージメントにおけるベストプラクティスを評価するシステムです。詳細の資料がございますので、ご参照ください	CDP2022 サプライヤーエンゲージメント評価 イントロダクション	
SERの発表は今回はいつ頃になりますか。	SERの発表時期は、まだ決まっておりません		
ジャパンレポートの発行時期はいつ頃でしょうか。	2023年春を予定しております		
顧客からの質問はいつ頃アップされるのでしょうか？またその質問内容は顧客ごとに異なるものなのでしょうか？	「顧客からの質問」となるのは、「サプライチェーンモジュール（SCC、など）」の部分です。（顧客要請のみの場合には、質問書本体モジュールも同時に回答可能となります） 原則としては、回答システム（ORS）がオープンする4月上旬頃、顧客要請もダッシュボードに示されますが、例年何度かに分けて順次表示されることがあります。要請時には、顧客企業からのメール、あるいはCDPからのご案内メールが届きましたら、ダッシュボードをご確認ください。 要請メールが届いているにも関わらず、ダッシュボードで要請元（取引先）が表示されない場合は、窓口までご連絡ください。	問い合わせ窓口 CDP Supply Chain Japan	
顧客要請のみで回答しましたが、要請元の顧客は当社の回答全体を見られる状態なのでしょうか？それともスコアレポートのみが共有されるのでしょうか？	要請元は回答全体を閲覧できます。またサプライチェーンモジュール（SCC、など）では、要請元が複数ある場合には個別に回答するためのプルダウン選択肢があります。この場合は、該当する取引先のみ、開示されます		
21年版はカテゴリー別の回答方法の詳細資料がありました。22年版はありますか？	日本企業向けガイドンスページに回答サポート資料を掲載しております	企業向け質問書&ガイドンス(日本語)	CDP Japan 開示サポート